

## オイルレスガイドピンで 給油作業低減！ & 潤滑トラブル低減！を両立！！

給油メンテナンスの低減や潤滑トラブルの予防・改善として、ガイドピンの油溝に固形潤滑剤を埋設した“オイルレスガイドピン”の採用を提案しておりますが、タカノ無給油化技術は従来のリング状の溝だけでなく**スパイラル状の溝に埋設することも可能**です。

高精度プレス金型における極小クリアランスで摺動するガイドピンや横型のプラスチック金型などにおけるしなり現象が発生する摺動部品・ピン全長が穴から外れる摺動部品などは、偏当たりが出やすくカジリや摩耗などの潤滑トラブルがより懸念されます。

このような場合は、スパイラル状の油溝を付ける事で改善効果が期待できます。



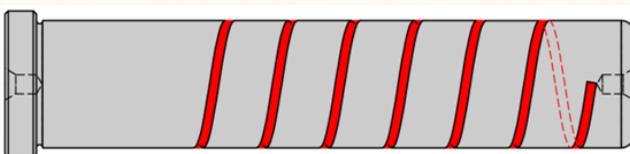
### スパイラル溝のメリット

スパイラル状の溝にしたピンは、溝部が当たる角度がずれ、応力が分散されてガイド部に挿入されます。その為、極端な焼付きや摩耗を引き起こすような応力集中を起しにくくします。リング状の溝タイプで摺動時に、溝部自体が引っかかりや抵抗の要因になりえる状況においては有効です。

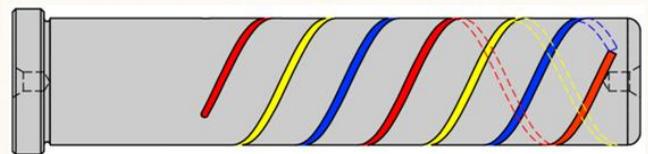
### スパイラル溝の種類

標準仕様では、スパイラル溝数を**1本～3本まで選択**することが出来ます。溝数が多くなるほど溝角度は小さくなり偏当たりの抵抗がより分散されます。  
標準仕様以外でも、スパイラル溝数、溝角度、溝巾、ピッチ等を任意に指定する事も出来ます。無給油タイプ以外の摺動ピンへのスパイラル溝加工も可能です。  
潤滑トラブルでお困りの方は是非お問合せください。

例) スパイラル溝 1本  $\triangle 76^\circ$



例) スパイラル溝 3本  $\triangle 53^\circ$



お問い合わせ

株式会社タカノ ・ 担当 関口・澤中

TEL 0276-22-6270 FAX 0276-22-6278

E-mail takano@kk-takano.co.jp

URL www.kk-takano.co.jp